

◆中核的漁業者協業体育成事業

定置網漁業と体験漁業の協業化による経営改善

山田真之

1. 目的

宜野座村漁協島袋定置網グループ、石川市漁協伊波定置網グループ、石川市漁協泉小型定置網グループは、それぞれにおいて、定置網漁業だけでなく、宜野座村においては定置網漁船に修学旅行生等に乗せた定置網体験漁業、石川市においては、定置網漁船を利用した船釣りや定置網付近に設置した筏による筏釣り等の体験漁業を実施している。しかし、経営体が脆弱であることによる資本の不足や人員不足に悩まされている。また、同地区においては、本土復帰後進められてきた各種開発行為に伴う赤土流出汚染等により、漁場環境悪化が進行している。このため、定置網漁業と体験漁業を複合化し、協業体で体験漁業を実施することにより経営改善を図りたい。また定置網で取れた漁獲物の協同出荷を行うことによりスーパー等の需要にも対応できるようになる。

2. 実施内容

①定置網漁業

平成16年度については、当初漁獲物を畜養しておくための生け簀と販売促進用のポスター・チラシの作成を予定していたが、漁獲量・漁獲高の減少を受けて畜養生け簀の導入を見送ることとし、販売促進用のポスターとチラシ（リーフレット）の作成のみ行うこととした。販売促進用ポスターはスーパー等の冷蔵棚に貼ってもらうことにより消費者に鮮度の良い地元の魚であることをアピールする。また一部の若い消費者には魚料理が浸透しておらず自ら購入・調理することがないと思われるので、チラシには主要魚種の料理のレシピを載せることにより消費者への魚食普及も図る。チラシは枚数が限定されているので、定置網協会の魚を出荷した際に合わせて店頭で配布する。

②体験漁業

平成15年度には石川・宜野座定置網協会のホームページを立ち上げてホームページ管理用のパソコンを石川市漁協事務所内に設置し、インターネットを通じ体験漁業の情報提供・集客を行っている。ホームページは更新しないと利用者に飽きを感じさせてしまい、リピーターの確保が出来ない。そこで今回ホームページ更新ソフト（ホームページビルダーVer. 8）を導入し、ホームページ作成の研修を受けることにより、自分たちで時期ごとにホームページの更新を行い、定置網に入る魚の季節的な情報や体験漁業の受け入れ等に関する細かい情報を利用者へ提供できるようにする。

また昨年度作成したホームページは作成時の技術的な問題から検索のキーワードの設定が少ないのでこれに改修を加えることにより、検索エンジンでより多くの検索にかかるように改修を行う。

③協業体としての経営方針

現在、宜野座島袋定置網グループは大型定置網1基、石川伊波定置網グループは大型定置網1基、石川泉小型定置網グループは小型定置網1基、石川宜野座定置網協会で大型定置網1基を所有している。定置網協会以外の定置網は、それぞれグループあるいは個人の資本で漁具を設置して経営を行っているため、それぞれの漁業収入については、個別で経営することとする。定置網協会の定置網については、体験漁業での収入及び体験漁業で漁獲される漁獲物に関して協業体で管理するものとし、定置網以外にも釣り堀筏やそれぞれで所有している船舶を使用して協業体として取り組んでいくものとする。



販売促進用ポスター



石川・宜野座定置網協会ロゴ